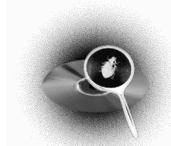


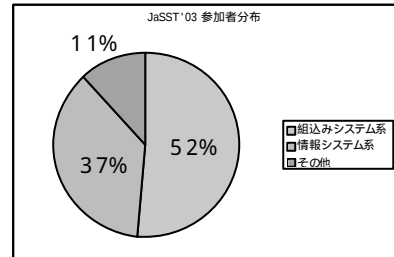
ソフトウェアテストシンポジウム2003 総括



ソフトウェアテストシンポジウム2003
2003/3/6 (木)
JaSST '03 共同実行委員長 西 康晴

Copyright 2003 NISHI, Yasuharu

参加者の皆さんの業種分布

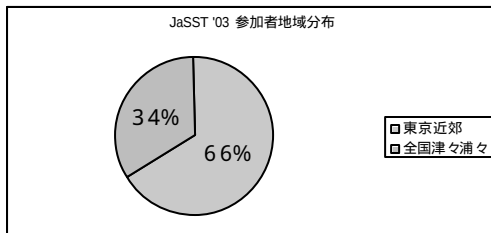


Software Testing

- 2 -

Copyright 2003 NISHI, Yasuharu

参加者の皆さんの地域分布

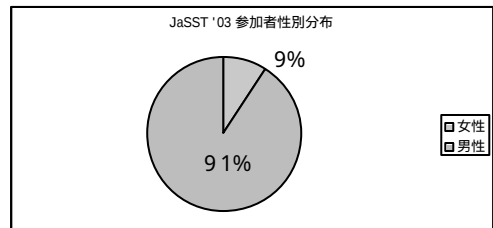


Software Testing

- 3 -

Copyright 2003 NISHI, Yasuharu

参加者の皆さんの性別分布



Software Testing

- 4 -

Copyright 2003 NISHI, Yasuharu

今年の傾向

- ソフトウェアテストに関連する業種が非常に広範囲に渡っている
 - 組込み系が52%
- 日本全国津々浦々、老若男女でソフトウェアテストに興味を持っている
 - 1/3が全国津々浦々から参加
 - もっと女性(9%)が増えてもいい
- 参加者が非常に熱心である
 - 全然寝ていない
 - 取材に3誌/サイトから来ていただいた



Software Testing

- 5 -

Copyright 2003 NISHI, Yasuharu

今年の内容

- 自動化やツールに関する興味が高い
 - 自動化やツールに関する発表が半分
- テストとプロセス、テストのプロセスの関係が注目されている
 - テストプロセス改善モデル(発表)やRUPとの関連(パネル)
- バグ摘出だけでなく品質全体に興味がある
 - 基調講演やQuality Gate(発表)
- 現場は技術的なばらつきが大きい
 - 工夫をしている組織と参画する組織(基調講演やパネル)
- 技術よりも文化や人の問題が大きい
 - 国民性/意識、組織、資格(基調講演)や惨状、格付け(パネル)



Software Testing

- 6 -

Copyright 2003 NISHI, Yasuharu

次回への野望

- 2月の始めに行う予定
 - 論文募集は8月頭に行う
- 基調講演として海外の権威をよびたい
 - チュートリアルも行う
 - 参加者同士が議論できる場を設ける
- 体験論文を気軽に投稿できるようにする
- 来年は300人を目指す
 - 値上げは(あまり)しない



皆さんお世話になりました

- 基調講演の山浦さん
- 発表者の皆さん
- 参加者の皆さん
- ツールベンダの皆さん
- 今日参加できなかった皆さん
- 主催 / 共催団体の皆さん
- 会場 (日科技連) の皆さん
- 実行委員の皆さん



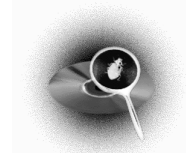
次回もよろしくお願いします

ソフトウェアテストシンポジウムは

困っている現場やテスト技術者が
幸せになれるようなシンポジウムを
今後も続けていきます



ぜひ次回もお越し下さい



ソフトウェアテストシンポジウム実行委員会
jasst@blues.tqm.t.u-tokyo.ac.jp